

玉川総合支所・区民会館改築基本構想（素案）説明会

日 時： 平成26年7月31日（木）午後7時～午後8時30分  
 平成26年8月9日（土）午前10時～午前11時30分  
 場 所：玉川区民会館第1・2集会室  
 参加者数： 32人 16人

ご質問	区の回答
土地の制約がある中で、必要面積の算定はやっているのか。	所要室面積については、標準となる面積基準により積算し、支所の面積は約7,200㎡、区民会館が約2,000㎡、駐車場1,800㎡必要となります。その他に、災害時対策で防災倉庫など整備します。
第二庁舎はどのように利用するのか。分庁舎はどうか。	第二庁舎と分庁舎の機能も区民が使いやすいよう集約して建替えます。分庁舎のその後の使用については別途判断することになります。
現在の庁舎は建設から46年経過し、バリアが多いうえに、最近では設備の老朽化で改修にも費用がかかっている。今後の修繕を考えると、今が建替え時ではないか。	今回の建替えは、災害対策の拠点機能を持つ建物としてさらに耐震性を高め、庁舎集約、バリアフリー化などの改善を図る必要性から、また、財政状況を勘案し、建替えを検討しています。
築46年では、躯体はまだ使用できるのではないか。スクラップアンドビルドで考えているのか。	
鉄筋は60年もつと言われていたからあと10年くらいはもつのではないか。コア抜きをして老朽度を見なければわからないのではないか。	
そもそも日本では余りにも建物の寿命が短すぎるのではないか。また、今が本当に建て替えに適した時期なのか、人手不足と聞いている。なぜ、今が建て替え時期なのか。	
何故今のタイミングで建替えるのか。	
リノベーションを適用する考えはないのか。	庁舎の機能が分散化しているため、リノベーションの適用は難しいと考えます。
5階建てにして日照条件の問題はないのか。	5時間 - 3時間の日影規制内で、建高4m × 5階で20mの5階建てを予定しています。
事務を効率化すれば、狭隘化は解消するのではないか。文書の平置きが多いのではないか。	国・東京都からの事務移管により事務量が増えスペースが不足し、書類などが一時的に平置きされている職場も見受けられます。今後、職員に改善を徹底していきたいと考えています。

昨年、電気工事と水道工事で7億円かけて改修しているが、今回の建替えでこれらは生かされないのか。	平成24年から平成25年にかけて行った工事は、ボイラーと配管設備が耐用年数を大幅に超過して、あちこちで配管が破れ汚水漏れを配管にビニールテープを巻いて凌いでおり、ボイラーもあまりにも古くメーカーにも部品のストックがなく修理不能であったため緊急で行いました。設備の再利用の可能性については検討します。
地下駐車場は何台くらいが駐車できる計画しているのか。駐車場の形態はどうか。	可能な限り台数を増やしたいが40台前後になる予定です。自走式の平置きで検討しています。
どの程度の予算と考えているのか。建替えに関わる費用全て示していただきたい。	支所用地の取得状況等により大きく変わりますが、基本設計で概算の費用を示していきます。
分庁舎の機能を持ってくると、乳幼児の健診スペースがかなり必要になるのではないか。	今後の基本設計の中で、混雑を緩和する形で検討したいと考えています。
地下水の保全対策はどのように考えているのか。現在の玉川支所には雨水浸透施設がないが、どうするのか。	今回の建替えにあたり、雨水浸透施設または一時貯留という形が必要になると考えますので、今後の設計の中で具体の検討を進めてまいります。
支所の建物は現在の基礎を利用することを要望するが、地盤や重量面から可能なのか。	設計を進める中で、適切な方法を取っていきたいと考えています。
スクラップアンドビルドで基礎はどれだけ生かせるのか。	
区民意見というが来庁者・施設利用者アンケートではないか。	アンケート調査は、第一庁舎、第二庁舎、区民会館で行いました。今後、資料を使用する際には説明などを加えていきます。
プライバシーに配慮した窓口づくりは必須だ。区外の庁舎の事例などを参考にすべきである。	他区市等の事例を検討して、基本設計・実施設計に活かしていきます。
建替えるのであれば耐震構造ではなく、免震構造で検討してほしい。	建物の機能や規模、コスト等を比較しながら、今後検討します。
目黒通りから川崎に橋が架かる予定となっており、災害時の自治体間の協力体制も考慮していくべきである。	現在、20年後の玉川支所管内の街づくりを考えていく地域整備方針を作成しているところです。庁舎等は災害対策の拠点として位置づけられており、自治体間が協力して防災対策に取り組んでいくことが大切であると考えています。
改築の話を区の広報で知った。区のおしらせだけでは不十分でないか。	説明会の案内については、全出張所、全まちづくりセンターに置くとともに、公報板への掲示、HPへの掲載を行い、また、区報で2回案内させていただきました。

通信技術の進展やバリアフリーへの対応など、将来を見据えた建築設計をしてほしい。	高度情報化の進展状況やバリアフリーへの配慮など、今後、設計に織り込んでいきます。
地下水が浅いとの声がある。建替えて地下水に影響はないのか。きっちり調査すべきである。	庁舎を建替える際には、地質調査、ボーリング調査を実施していきます。
新庁舎ができるまで、支所の機能はどこに移す予定か。	支所機能を一箇所に移転できる場所が無く、出張所や戸籍などは等々力地区内、他の業務は玉川地域内を対象に移転先を検討しています。
人口の減少、環境の変化など将来計画を踏まえた上で費用の見積もりを立て、説明をするべきなのではないか。 新しい建物は何年もたせるつもりか。	今回の基本構想は、基本設計に踏み出すに当たり基本的な考え方をまとめたものです。予算や建物の寿命、使い方に関して、技術事項を踏まえながら、今後検討してまいります。
新しい支所の中に等々力出張所は含まれていないのか。	等々力出張所は新しく建てる建物の中に含まれます。窓口を利用される方のために低層階に配置したいと考えています。
駐輪場が構想に示されていないが、配置する予定はあるか。	駐輪場は設置する予定です。
災害時のペットの避難について、新しい施設を作りにあたり、避難所へのペットの同行をどのように考えているのか。	ペットの同行については大きな課題であり、どういうルールで受け入れるか、避難所運営を行う皆さんと相談をしていきたいと考えています。玉川総合支所は、支援物資の供給など、地域防災本部の機能が果たせるよう検討していきます。
猫へ餌やりしている人への注意喚起をしてほしい。	ペットに関することは保健所で対応しています。飼い主のいない猫の餌やりについても看板などを設置しているので、HPなどで確認してください。
タバコのポイ捨ての対策をしてほしい。	ポイ捨て防止強化月間には、区のお知らせ、窓口のお知らせを通してご案内しており、また、区民の皆様と協力して、キャンペーン活動も行っております。
区民会館の破損した椅子がすぐに修理されなかった。また支所周辺の清掃など環境整備について改善してほしい。	椅子の修理に関しては、ご指摘のあとすぐに対応すべきでした。支所周辺の清掃を実施しており、タバコのポイ捨てなどにも対応していきます。